



学習発表会 ～秋豊祭～「百花繚乱 ～27人の花を咲かせよう～」

無花果

No.181
令和元年12月25日発行
発行 秋田県立聴覚支援学校
秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

「台詞を覚えてもつと大きな声で話したい」「リズムを合わせて太鼓を打ちたい」と、自ら決めた目標に向かって、あきらめず粘り強く取り組んでいます。すぐに達成できなくても、投げ出しません。目標をもつこと、努力を続けることで、子ども自身が自分の成長を実感できたことでしょう。そして、また新たな目標へとつながります。

学習発表会の数日前、卒業生が学校に顔を見せにきました。後輩たちの練習を見て、「発表会当日もだけれど、発表会に向けて悩んだり相談したり、時にはケンカしたりしながらみんなで創り上げた過程が今も心に残っている。」と懐かしそうに話してくれました。目標に向けて、努力した日々。時を超え、学校での学びが卒業生の心に残っていることをうれしく思いました。

一人一人が考え、目標をもち、他の人と関わり互いに学び合う過程、そんな時間を大事にできる学校。教室や廊下には、子どもたちの思いが込められた目標が掲示されています。校内の学習だけではなく、地域の学校との交流や部活動の大会、職場体験などの目標もあります。様々な経験、過程を通して挑戦を重ね、自分を鍛え磨いています。地域の方々や関係機関、後援会や保護者の皆さんから、子どもたちが挑戦する多くの機会をいただいていることに、心から感謝いたします。

これからも、子どもたちが自分を磨き続けることができるよう、一人一人の花を咲かせられるよう、職員も自身を磨き共に取り組んでいきたいと思えます。



自分を磨く

教頭 松井智子

「陶冶」。中学部三年生の学級旗に書かれた言葉です。読み方は、「とうや」。この難しい言葉の意味を中学部三年の生徒に聞いてみると、「自分を磨くこと」と答えてくれました。教室に掲げられた「陶冶」の文字は、いつも生徒たちを見守っています。

「自分を磨く」絶好の機会の一つが学習発表会です。「自分を磨く」リズムを合わせて太鼓を打ちたい」と、自ら決めた目標に向かって、あきらめず粘り強く取り組んでいます。すぐに達成できなくても、投げ出しません。目標をもつこと、努力を続けることで、子ども自身が自分の成長を実感できたことでしょう。そして、また新たな目標へとつながります。



初めてのボッチャ体験 ～PTAレクリエーション～

高橋 すみか

参加者がほぼ初心者という中でルールの説明から始まりましたが、講師の方の巧みな話術により、終始笑い声が響き渡る楽しい時間となりました。

今回、実際にやってみることで、ボッチャは障害者だけでなく誰でも一緒にできるスポーツなのだと思えました。また、上手い下手は関係なく楽しめることも分かりました。機会がありましたら、子どもたちを含めもつとたくさんの方々と一緒にできたらと思います。



ランチランドを通じて

荒川 喜美子

十月十二日の学習発表会にて、ランチランドを開催しました。台風の影響により天候に恵まれず、時間も短縮という中で開催でしたが、子どもたちの素晴らしい発表もあり、たくさんの方々で賑わいました。

私は右も左も分からない状況でしたが、経験豊富な先生方、保護者の皆様のご協力のおかげで無事に終えることができましたと思います。ランチランドを通じてたくさんの方々に関わり、よい経験となりました。ありがとうございました。



高等部修学旅行

広島・京都への修学旅行
伊藤 友和



金閣寺



平和記念公園

三泊四日の日程で広島と京都に修学旅行に行ってきました。原爆ドームでガイドさんの話を真剣に聞いている四人の姿に成長を感じることができました。旅行中は時折小雨が降りましたが、京都ではかえって風情が増して感じられました。旅行の感想の一部を紹介いたします。「戦争と原爆がなくなればいいと思った。」「厳島神社の床板の隙間が、海が満ちてきたときのためにわざと開けていることを初めて知りました。」「金閣寺を初めて見て、本当に金色だと思った。きれいだ」と思い、よい気持ちになりました。「天龍寺の景色がものすごくきれいだっただけで、言葉にできませんでした。」「四人でつくったこの思い出をいつまでも大切にしたいと思います。」

ニュース・トピックス

- ◎第五十六回全国高等学校陸上競技大会栃木大会
高等部男子 八〇〇m 第七位 荒川太陽
- ◎東北地区聾学校卓球大会(宮城大会)
高等部女子 第五位 鈴木里枝
第六位 門脇紗南
- ◎第五十二回秋田県高等学校総合美術展
美術工芸部門(絵画) 高等部一年 松本拓己 推奨
- ◎令和元年度みんなの写真展
優秀賞 高等部二年 鈴木里枝
佳作 高等部一年 松本拓己
入選 小学部二年 高坂駿也
入選 小学部五年 中島琴音
- ◎第十七回わくわく美術展
絵画部門
入選 中学部三年 秦 結来
入選 中学部三年 藤原心華
入選 高等部一年 松本拓己
自由作品部門
佳作 高等部二年 荒川太陽
佳作 高等部二年 鈴木里枝

編集後記

様々な行事等を通して、子どもたちが生き生きと活躍する姿がたくさん見られた二期でした。寒い冬を迎えますが、健康・安全に気をつけて、よいお年をお迎えください。

学部の行事コーナー

幼稚園部

セリオンにしゅっぱあつ!

高橋 美裕

「セリオン、たかあひ!」到着するやいなや、手をいっばいに伸ばしながら、つべんを見上げて驚く子どもたち。「何が見えるかな?」期待に胸を膨らませ、エレベーターで展望台へ。「ママ見て!船だよ。動いてるね。」「おうち、小さいね。」「あ、車見えた!」展望台からの景色を目の前に、親子の会話にも花が咲きました。たくさん見ました。たかあひさん、お話を聞いて、思い出のアルバムに、また新たなページが刻まれました。



小学部
秋の校外学習「博物館・水族館へ」
小玉 幸子



十月二十五日、一年生はスクールバス、二年生と五年生は送迎バスに乗って、校外学習に出かけました。竪穴式住居や標本、土器などの濃い展示をじっくり味わう一年生。シロクマやアザラシの元気な動きに大喜びの二年生。自分たちが探していた生き物を見つけ、満足げな五年生。七名がそれぞれに発見したり楽しみました。興味・関心を広げた一日となりました。

中学部

スポーツを通じた交流

鈴木 亜希子

交流七年目となった下北手中学校体育祭に参加し、「团结協力」を念頭に共にスポーツを楽しみました。卓球やチームロップジャンプの他に、ボッチャ、ソフトバレーボール、スプーンリレー等が新しく加わり、今まで以上に和やかな雰囲気での試合を行うことができました。生徒からは「チームロップジャンプでは、息を合わせることに力がきた。」「一番楽しかった競技はソフトバレー。他の行事でもまた交流したい。」等の感想が聞かれました。



高等部
高等部防災教室
佐藤 剛大

九月九日(月)に「防災教室」を行いました。前年度に引き続き、日本赤十字秋田短期大学から及川真一先生にお越しいただきました。日赤短大の学生さんと災害時に関連したミニ手話教室で交流した後、体育館で簡易テントの設置を体験しました。設営手順を確認しながら、より多くの方に利用しやすいようにテントの出入り口の方向を工夫しました。避難所で生徒たちにもできる支援を体験できました。



寄宿舎

合同余暇活動「虫聞きの茶会」

佐々木 なおみ

十月二十四日、視覚支援学校と本校との合同の「虫聞きの茶会」が行われました。講師として旧非常勤寄宿舎指導員島山博志先生に来ていただきました。いつも見慣れたホールは畳に毛氈、茶室を彩る掛け軸やお花等が準備され、先生からのお点前で本格的なお茶を、お菓子と味わいました。一人一人丁寧に作法を教えていただき、自分でお茶を点て、穏やかに楽しむ時間を過ごすことができました。貴重な体験となりました。



支援部
難聴児童交流会
小野 武則

七月二十七日(土)本校小学部の四名を含む県内の難聴児童十四名が集まり、自己紹介やじゃんけん列車、風船リレーなどで交流しました。今年初めて参加する人も多く、自己紹介もドキドキでしたが、次第に笑顔も増えて楽しい時間となりました。併せて行った保護者会では、小学校通常学級に通う児童の保護者から体験談をお話いただいたり、参加者同士で情報交換したりと有意義な時間となりました。



特体連総合体育大会

大応援団に支えられて

鈴木 英揚

大会に向けて楽しみながら、たくさん練習をしてきました。その成果が実り、みんなで力を合わせて好記録を出すことができました。みんなの頑張りに加えて、保護者の方々や本校職員からの応援が後押ししたからだと思います。皆さんの応援、本当にありがとうございました。



全校マラソン大会
〇〇にも負けず、風にも負けず自分への挑戦!
小野 武則

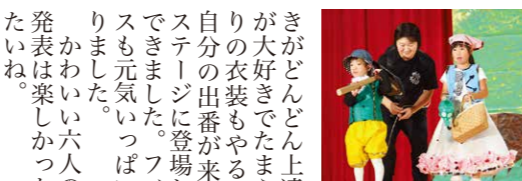
今年度は、グラウンドを周回する新コースで、自分で走る距離を決める大会に変更しました。前日の雷雨で、グラウンドの一部は水分を含んだ泥状態に。始まるギリギリまでスポンジで水分を吸い取って大会を行いました。幼稚園から高等部までのランナー二十一名は、かがやきの丘に吹く強風も何のその、たくましく走り、皆さんの応援を背に目標の距離を走りきりました。



幼稚部

力を合わせて うんとこしょ どっこいしょ

幼稚部担当 佐藤 悦子



今年の発表は劇「おおかきなかぶ」。子どもたちは、おじいさん、おばあさん、そして動物たちに扮してかぶを引っ張りました。はじめの頃はきよんとした表情の子どもたちも、練習を繰り返すうちにセリフや動作の衣装もやる気アップにつながりました。自分の出番が来ると、「待ってました!」とステージに登場し、生き生きと演じることができました。フィナーレのダンスも元気いっぱいノリノリで踊りました。



小学部

みんな にこにこがいね

小学部担当 小松 千春



笑わぬ王様を何とかして笑わせようと、二人の家来と五人の町人が知恵を出し合い、協力して合つて、にこにこ大作戦を繰り広げる物語。竿燈英語の歌とダンス、パズルなど、それぞれの得意なことや学習の成果を披露しました。それでも笑わない王様のために、七人で考えたのは、かがやきの丘の三人の王様たちからのお墨付きをいただいた手作りピザ!生地をこね、自分たちが育てた野菜をのせて、「おいしくなあれ」と魔法をかけ、焼き上がったピザを食べ、王様はにこにこ。会場から、たくさんのにこにこがいね。

中学部

故郷(ふるさと)秋田

中学部担当 加藤 深湖



中学部の発表は、私たちの故郷である秋田を県民歌の群読、ダンス、カラオケ、太鼓で表現しました。本番までの道りは山あり谷ありでしたが、一人一人の努力が一つになることで、お客様に感動していただけるステージになったと思います。本番を終えた生徒たちの感想を紹介します。「中学部最後の学習発表会は、感動したよ」と言ってもらえたのは、必死に練習を頑張ってきたからだと思います。「先生や家族から『感動したよ』と言ってもらえたのは、必死に練習を頑張ってきたけれど、みんなが頑張ったことで良かった。」「ダンスは苦手だったが、みんなが頑張ったことで練習している様子を見て、自分も頑張ることができた。」「本番では練習よりもキレイなダンスを踊ることができて良かった。」

学習発表会

高等部

三つ目の願い事

高等部担当 煙山 明美



「笑いと涙、そして感動を届けよう!」と、個々の課題や演出のアイデアを出し合い練習に取り組みできました。まだまだ生意気盛りの高校生、しつかり者だけではないさのある天使、お調子者だけではない冷静な天使、大きな愛で息子を支える両親、みんなの必死の願いに耳を傾ける神様、自分の役柄を具体的にイメージして演じました。本番では緊張を力に変えた素晴らしい発表ができました。「セリフがないところでも自分で考えながら演じました」「笑いはやりがいを感しました」と生徒から感想が聞かれました。

児童生徒会

『満開』

生徒会会長 高等部三年 小川 優士

今年の学習発表会のフィナーレは、運動会に引き続き「パプリカ」のダンスを踊ることになりました。練習は、運動会をのぞきの赤組と白組に分かれて行いました。久しぶりにみんなで踊ることになったので、一つ一つリズムを合わせたり、振付を確認したりすることから始めました。練習中は、動きが反対になったり、リズムが速くなったりと、全員の動きを揃えることに苦戦しました。しかし、本番では積み重ねてきた練習の成果を発揮し、動きが揃ったダンスを披露することができました。一人一人の笑顔の花が、満開となった最後の決めポーズは、私にとって大切な思い出であり、宝物です。

